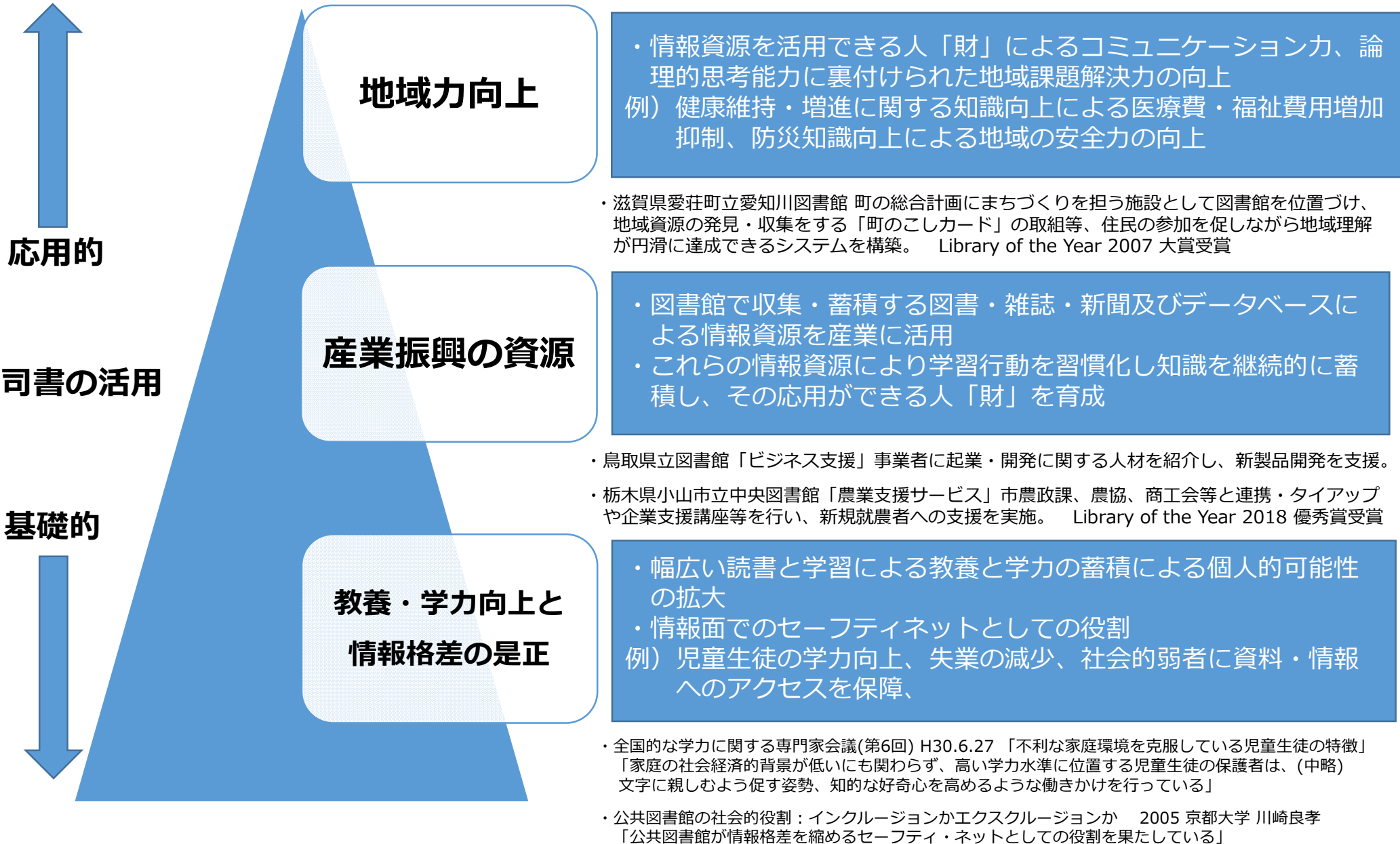


図書館振興に取り組むことによる効果



地域力向上

- ・ 情報資源を活用できる人「財」によるコミュニケーション力、論理的思考能力に裏付けられた地域課題解決力の向上
例) 健康維持・増進に関する知識向上による医療費・福祉費用増加抑制、防災知識向上による地域の安全力の向上

・ 滋賀県愛荘町立愛知川図書館 町の総合計画にまちづくりを担う施設として図書館を位置づけ、地域資源の発見・収集をする「町のごしカード」の取組等、住民の参加を促しながら地域理解が円滑に達成できるシステムを構築。 Library of the Year 2007 大賞受賞

産業振興の資源

- ・ 図書館で収集・蓄積する図書・雑誌・新聞及びデータベースによる情報資源を産業に活用
- ・ これらの情報資源により学習行動を習慣化し知識を継続的に蓄積し、その応用ができる人「財」を育成

・ 鳥取県立図書館「ビジネス支援」事業者に起業・開発に関する人材を紹介し、新製品開発を支援。
・ 栃木県小山市立中央図書館「農業支援サービス」市農政課、農協、商工会等と連携・タイアップや企業支援講座等を行い、新規就農者への支援を実施。 Library of the Year 2018 優秀賞受賞

教養・学力向上と 情報格差の是正

- ・ 幅広い読書と学習による教養と学力の蓄積による個人的可能性の拡大
- ・ 情報面でのセーフティネットとしての役割
例) 児童生徒の学力向上、失業の減少、社会的弱者に資料・情報へのアクセスを保障、

・ 全国的な学力に関する専門家会議(第6回) H30.6.27 「不利な家庭環境を克服している児童生徒の特徴」 「家庭の社会経済的背景が低いにも関わらず、高い学力水準に位置する児童生徒の保護者は、(中略) 文字に親しむよう促す姿勢、知的な好奇心を高めるような働きかけを行っている」

・ 公共図書館の社会的役割：インクルージョンかエクスクルージョンか 2005 京都大学 川崎良孝 「公共図書館が情報格差を縮めるセーフティ・ネットとしての役割を果たしている」

図書館振興に取り組むことによる副次的効果

文化と楽しさの提供

- ・役所は必要上、行きたくなくても行くところ
- ・図書館は自ら進んで、知識・文化や楽しさを求めて行くところ

・高知県梶原町 夜間開館の実施や、カフェ、ボルダリング、物販の検討、館内での飲食・飲酒の一部容認など、従来型ではないサービス指向。町民が文化に触れる機会の創出や来館者数を重視。 H29.5に開館 ⇒ H31.2来館者10万人達成

交流の場・居場所

- ・無目的に来訪できる図書館は様々な人の出会いの場、交流の場
- ・異世代の交流
- ・多文化交流
- ・男女の出会いの場
- ・地域全体による子育ての場

・「夏休み明け前に学校に行きたくなければ図書館へいらっしやい」
1日で7万7千リツイート 神奈川県鎌倉市図書館 産経ニュース2015.8.28

・佐賀県伊万里市 市民と「協力」する図書館。400人を超える市民がスタッフ的に活動

移住者・交流人口の増加

- ・地域の魅力を感じ取った／理解した方が移住に踏み切る
- ・都市部では当たり前の図書館があることによる安心感

・富山県舟橋村 村おこしとして図書館と駅舎を併設(H10)、駐車場の整備等の多面的相乗効果により人口が増加 人口 H7 1,658人 ⇒ R1 3,137人

・長野県下條村 村長「若者定住」のための施策としてまず図書館を整備(H7)。
H2 人口 3,859人 ⇒ H17 4,210人 合計特殊出生率 2.04人(H15～19村試算)

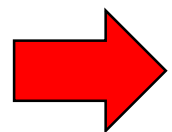
・宮城県七ヶ宿町 人口減対策として図書館や住宅を整備 読売新聞2018.6.15

観光の魅力増大

地域住民が地域のことを「お国自慢」ではなく、幅広い知識の中で正確に知り、それを発信できるようになることにより実現

・沖縄 「恩納村情報文化センター」 図書館と観光情報機能を兼ね備えた複合施設を整備 入館者数は開館から3年目で30万人、県外の登録者数490人。近隣の博物館は入場者が2倍に増加。物産施設には年間来場客は100万人。

・佐賀県基山町 図書館(H27改築)等の公共施設は駅周辺に集約されていることやコンパクトシティによる街の活性化により内閣府と国土交通省のモデル都市に選ばれる。
イベント来場者及び施設利用者数 H27 34,300人 ⇒ H30 51,0452人



図書館は地域の可能性を広げる「知のインフラ」